

●博士前期課程・修士課程のディプロマポリシー

・大学院共通

名古屋市立大学では、市民によって支えられる市民のための大学として、地域社会や国際社会の発展に貢献し、社会全体の幸福の実現や持続可能な社会の構築に資する優れた人材を育成するという教育上の目的に鑑み、高度な専門性のみならず、連関する分野にも幅広い知見と志向性を持ち、学際的視点を備え、所定の単位を修得し、所定の要件を満たした学生に対し、修了を認定し、学位を授与します。

・医学研究科修士課程

医学研究科は、基礎医学研究者と臨床医学研究者とが自由に最先端の医学研究を共同できる体制を組織して、大学院学生の教育に当たり、独創的かつ広い視野を持つ医学研究者および高度の医療知識と技量を備えた医師を育成するという目的に鑑み、以下の能力を有すると認められた者に対し、医学修士の学位を授与します。

- 最先端の医学・医療および生命科学領域に関する幅広い知識・能力を修得する。
- 共通教育科目を通して医学の基本概念と学問領域の位置づけを理解する。
- 専門演習および特別研究により専門分野における基本的な手技を修得するとともに得られた結果をまとめる力を養う。

本課程に2年以上在学し、共通教育科目14単位、専門演習および特別研究16単位の計30単位を取得後、学位論文を提出し審査および最終試験に合格することが、学位授与の必要要件です。

・薬学研究科創薬生命科学専攻

薬学研究科では、薬学領域を基盤として幅広い知識と深い専門性を修得し、革新的研究を目指す研究者・技術者および広い視野、専門性と高い倫理観を持ち教育、行政及び医療現場で活躍できる卓越した能力を有する人材を育成するという教育上の目的に鑑み、以下の能力を有すると認められた者に対し、修了を認定し、学位を授与します。

博士前期課程(創薬生命科学専攻)では、以下の能力を有すると認められた者に対し、修了を認定し、修士(薬科学)の学位を授与します。

- 物質科学・生命科学の基礎知識および最新の知識と技術を修得し、研究を通して、高い問題解決能力を身につけている。

・経済学研究科専攻共通

経済学研究科では、経済学や経営学に関する広範で豊かな知識や教養を備えた社会人ならびに高度な専門知識を有する研究者の養成に努め、経済、経営上の諸問題に柔軟かつ的確に対応できる高度な専門性を持つ人材を育成するという教育上の目的に鑑み、以下の能力を有すると認められた者に対し、修了を認定し、修士(経済学)または修士(経営学)の学位を授与します。

- 幅広く深い知識を備え、専攻分野である経済学・経営学における研究能力を有している。
- 高度な専門性を必要とする職業を担うための優れた能力を身につけている。

・人間文化研究科人間文化専攻

本研究科の教育の目的は以下の通りです。

1. 高度かつ先進的な国際水準の研究を行うことによって、次世代を担う若手研究者を育成し、また多様な経歴を持つ社会人の再教育を行うこと
2. 人文社会諸科学の高度な知識と研究能力を涵養して、地域と国際社会の持続可能な発展に対応でき、寄与できる人材、現代社会の諸問題について指導的な役割を果たすことができる人材、グローバルな視点とローカルな視点とを併せもつ高度専門職業人や研究者を育成すること
3. 地域と連携した研究・教育を推進すること

上記目的を踏まえ、博士前期課程にあつては、本研究科に2年以上在学して、専門領域に関する高度な知識を身につけるとともに課題に即した研究能力を獲得し、さらに修士論文の審査および試験に合格することが学位授与の要件です。

・芸術工学研究科芸術工学専攻

芸術工学研究科では、「技術」「感性」「人間理解」を軸に幅広い視野と教養、創造性豊かで高度な知識と技術を身につけ、デザインの理論と実践を通じ持続可能な地域社会の構築に貢献できる専門的職業人を育成するという教育上

の目的に鑑み、以下の能力を有すると認められた者に対し、修了を認定し、修士(芸術工学)の学位を授与します。

- 芸術工学の特色である芸術と工学を融合する学際性と、理論に裏付けられた実践性を理解し、生活者である人間の特性を理解して構想(Design)から構築(Architecture)までの調和のとれたデザインを展開する技術を修得している。
- 芸術工学分野における専門的職業人に相応しい知識・技量・実践力を身につけている。

・看護学研究科看護学専攻

大学院看護学研究科博士前期課程では、臨地における問題や課題に積極的に取り組む研究・実践能力を養うという教育上の目的に鑑み、以下の能力を有すると認められた者に対し、修了を認定し、修士(看護学)の学位を授与します。

- 人間の尊厳を理解し、広い視野に立ち、精深な学識を有している。
- 高度な職業倫理を有し、看護学・助産学の発展と探究に寄与し、保健・医療・福祉に貢献できる能力を有している。
- 修士論文コース(看護学領域および助産学領域)を修了する学生は、専攻する教育研究分野における問題や課題に積極的に取り組む研究・実践能力を有している。
- 専門看護師教育コースを修了する学生は、特定分野における実践、相談、調整、倫理調整、教育、研究に卓越した能力を有している。
- 助産学上級実践コース・アドバンスコースを修了する学生は、助産師として高度な助産実践能力と研究能力を有している。
- 助産師国家試験受験資格取得コースを修了する学生は、助産師としての基礎的な助産実践能力と研究能力を有している。
- 修士論文あるいは課題研究成果物は、研究目的(問題設定)、研究方法、実施、分析、考察の適切性、学術的発展性、倫理的配慮などの点で、修士の学位に相応する内容であり、学生はその研究能力を有している。

・理学研究科博理学情報専攻

理学研究科では、生命科学、物質科学、数理情報科学などの研究分野において幅広い知識を備え、個別の分野における研究能力と専門性を必要とする職業を担う人材を育成するという教育目標の下、以下の能力を有すると認められた者に対し、修了を認定し、修士(理学)の学位を授与します。

- 理学の専門分野において、主体的に研究を行う能力を身に着けている。
- 未知の課題を解決するための手法を考える能力を体得している。
- 研究する上で独創性が重要なことを理解している。
- 研究を遂行する上で必要な基本的能力(討論、研究発表など)を有している。
- 倫理性と責任感をもって研究を遂行することができる。

●博士後期課程・博士課程のディプロマポリシー

・医学研究科博士課程

医学研究科は、基礎医学研究者と臨床医学研究者とが自由に最先端の医学研究を共同できる体制を組織して、大学院学生の教育に当たり、独創的かつ広い視野を持つ医学研究者および高度の医療知識と技量を備えた医師を育成するという目的に鑑み、以下の能力を有すると認められた者に対し、医学博士の学位を授与します。

- 医学・医療における未解決の諸問題に対して、独自の実験・解析法を立案できる。
- 得られた結果の適切な評価と議論により、問題解決に迫る一連の能力を修得する。

本課程に4年以上在学し、共通科目6単位、専門科目:主科目15単位・副科目5単位および特別研究4単位の計30単位を取得後、学位論文を提出し審査および最終試験に合格することが、学位授与の必要要件です。ただし、研究成果が優れており、評価の高い国際欧文学術誌に発表された場合には、3年で学位授与される場合があります。

・薬学研究科創薬生命科学専攻

薬学研究科では、薬学領域を基盤として幅広い知識と深い専門性を修得し、革新的研究を目指す研究者・技術者および広い視野、専門性と高い倫理観を持ち教育、行政及び医療現場で活躍できる卓越した能力を有する人材を育成するという教育上の目的に鑑み、以下の能力を有すると認められた者に対し、修了を認定し、学位を授与します。

博士後期課程(創薬生命科学専攻)では、以下の能力を有すると認められた者に対し、修了を認定し、博士(薬科学)の学位を授与します。

- 最先端の研究成果を挙げて学術論文として発表し、その過程を通して、

問題解決能力に加えて、課題設定能力を身につけている。

・薬学研究科共同ナノメディシン科学専攻

薬学研究科では、薬学領域を基盤として幅広い知識と深い専門性を修得し、革新的研究を目指す研究者・技術者および広い視野、専門性と高い倫理観を持ち教育、行政及び医療現場で活躍できる卓越した能力を有する人材を育成するという教育上の目的に鑑み、以下の能力を有すると認められた者に対し、修了を認定し、学位を授与します。

博士後期課程(共同ナノメディシン科学専攻)では、以下の能力を有すると認められた者に対し、修了を認定し、博士(ナノメディシン科学)の学位を授与します。

- ナノマテリアル、ナノデバイス関連分野に対する深い学識と技術を修得する。最先端の研究成果を挙げて学術論文として発表し、その過程を通して、問題解決能力に加えて、課題設定能力を身につけている。

・薬学研究科医療機能薬学専攻

薬学研究科では、薬学領域を基盤として幅広い知識と深い専門性を修得し、革新的研究を目指す研究者・技術者および広い視野、専門性と高い倫理観を持ち教育、行政及び医療現場で活躍できる卓越した能力を有する人材を育成するという教育上の目的に鑑み、以下の能力を有すると認められた者に対し、修了を認定し、学位を授与します。

博士課程(医療機能薬学専攻)では、以下の能力を有すると認められた者に対し、修了を認定し、博士(薬学)の学位を授与します。

- 医療薬学系の基礎知識を修得する。最先端の研究成果を挙げて学術論文として発表し、その過程を通して、臨床での問題を独自に発見し、解決する高い研究能力、あるいは基礎と臨床のかけ橋となる薬学領域の研究を独自に推進できる能力を身につけている。

・経済学研究科専攻共通

経済学研究科では、経済学や経営学に関する広範で豊かな知識や教養を備えた社会人ならびに高度な専門知識を有する研究者の養成に努め、経済、経営上

の諸問題に柔軟かつ的確に対応できる高度な専門性を持つ人材を育成するという教育上の目的に鑑み、以下の能力を有すると認められた者に対し、修了を認定し、博士(経済学)または博士(経営学)の学位を授与します。

- 研究者として自立して研究活動を行い、また、高度な専門業務に従事するために必要な能力を有している。
- 研究活動や高度な専門業務を行う上で基盤となる学識・知見を身につけている。

・人間文化研究科人間文化専攻

本研究科の教育の目的は以下の通りです。

1. 高度かつ先進的な国際水準の研究を行うことによって、次世代を担う若手研究者を育成し、また多様な経歴を持つ社会人の再教育を行うこと
2. 人文社会諸科学の高度な知識と研究能力を涵養して、地域と国際社会の持続可能な発展に対応でき、寄与できる人材、現代社会の諸問題について指導的な役割を果たすことができる人材、グローバルな視点とローカルな視点とを併せもつ高度専門職業人や研究者を育成すること
3. 地域と連携した研究・教育を推進すること

上記目的を踏まえ、博士後期課程にあっては、本研究科に3年以上在学して、特殊講義と特別演習(研究指導を含む)を履修することで、専門領域における自立した研究者としての能力を獲得し、さらに博士論文の審査および試験に合格することが学位授与の要件です。

・芸術工学研究科芸術工学専攻

芸術工学研究科では、芸術工学分野の研究者および高度な専門的職業人として各分野で指導者として活躍できる人材を育成するという教育上の目的に鑑み、以下の能力を有すると認められた者に対し、修了を認定し、博士(芸術工学)の学位を授与します。

- 芸術工学の特色である芸術と工学を融合する学際性と、理論に裏付けられた実践性を理解し、生活者である人間の特性を理解して構想(Design)から構築(Architecture)までの調和のとれた研究とデザインで、社会の課題解決に貢献できる知識と技術を修得している。
- 芸術工学分野における研究者および産官学分野における高度な専門的職業人の指導者として相応しい知識・技量・実践力を身につけている。

・看護学研究科看護学専攻

大学院看護学研究科博士後期課程では、健康生活支援や新たなケアシステムに関する研究を通じて看護学の学問的構築を推進できる優れた教育・研究者を育成するという教育上の目的に鑑み、以下の能力を有すると認められた者に対し、修了を認定し、博士(看護学)の学位を授与します。

- 科学の発展や技術の進歩に伴う医療の高度化、社会の構造の変化や国際化などに伴う健康課題の多様化に即した研究・教育を遂行するに必要な広い視野と豊かな学識を有している。
- その広い視野と豊かな学識を十分に活用し、自立して、独創的で高度な研究活動を持続する意志と能力を有している。
- 博士論文は、研究目的(問題設定)、研究方法、実施、分析、考察の適切性、研究の独創性、学術的発展性と意義、倫理的配慮などの点で、博士の学位に相応する内容であり、その一部は参考論文として学術雑誌に掲載されている。学生はこれらの研究能力を有している。

・理学研究科理学情報専攻

理学研究科では、生命科学、物質科学、数理情報科学などの研究分野において幅広く深い知識を備え、個別の分野における高い研究能力と高度な専門性を必要とする職業を担う人材を育成するという教育目標の下、以下の能力を有すると認められた者に対し、修了を認定し、博士(理学)の学位を授与します。

- 理学の専門分野において、国際的に通用する水準の研究を行う能力を身に付け、自立した研究者として各分野で貢献できる。
- 未知の課題を探し出し、その重要性を判断し、課題解決に向けての手法を自ら考え、実際に課題を解決する能力を体得している。
- 研究する上で独創性が重要なことを深く理解し、自ら独創性を正当に評価でき、これを志向した態度を体得している。
- 研究を高いレベルで遂行する上で必要な能力(討論、研究発表、共同研究の遂行、研究環境の構築など)を有している。
- 英語による研究論文の執筆や国際会議での発表に必要な語学力を身につけている。
- 高い倫理性と責任感をもって研究を遂行することができる。